



ISO-7

ESL エスロックシリーズ

深穴ホールソー

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要ときに読み返してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください



警告 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容



注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

警告

- ① 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- ② 作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。
- ③ 指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解は絶対にしないでください。
- ④ 作業中は、保護メガネを必ず着用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では、耳栓やイヤーマフなど防音保護具を着用してください。
- ⑤ 作業中は振り回されないように、電動工具を両手で確実に保持してください。
- ⑥ 高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- ⑦ カッター取り外し操作に注意してください。

注意: スリーブを操作すると、カッターが外れ飛び出す構造になっていますので、取り外し操作時はカッター刃先側を人に向けた状態で行わないでください。また、高所作業ではカッターの落下に注意してください。

- ⑧ 穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっていますので、火傷をしないよう保護手袋等を着用してください。ただし、カッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないでください。
- ⑨ カッター及びセンタードリルの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルでけがや火傷をしないように注意してください。
- ⑩ カッターとシャンクの着脱時は、電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ⑪ ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された上で、ご使用ください。

注意

- ① 使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- ② 電動工具は、電気ドリル・軽量ハンマードリル(SDSプラス)の回転モード以外ではご使用にならないでください。
- ③ 穴あけ途中は、絶対に回転を止めないでください。(刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります。)回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めてください。
- ④ 切削片がカッターから出にくい場合は《切削片取り出し方法》を参照し、カッター後方よりコア押し出し棒を差し込み、切削片を刃先側へ押し出してください。
- ⑤ カッターは変形しないように注意して取り扱ってください。また、変形したカッターは使用しないでください。
- ⑥ カッターをシャンクに装着する場合は、挿入部に切り粉が付いていない状態で作業してください。
- ⑦ カッターを装着していない状態で、シャンクのスリーブがロック状態になった場合は、スリーブを引張りロック解除状態にしてから、カッターを装着してください。
- ⑧ カッターの着脱操作がスムーズに出来ない場合は着脱操作部内にエアーを吹き付け綺麗にしてください。また、粘度の低い防錆潤滑油を着脱操作部内に塗布してください。潤滑油を塗布する場合は、粉塵等が付着しないように少量を塗布してください。
- ⑨ 切粉の排出が悪い場合は、ベックモーションを行いながら穴あけされると改善されます。
- ⑩ 金属への穴あけ時は、切削油を使用されると切削性が良くなります。
- ⑪ 1 穴毎にカッター内の切削片を取り除いてください。

本製品について

●用途(被削材)

- ◎適合材: 金属、ステンレス
 - ◎穿孔可能材: 塩ビ管、金属サイディングボード、FRP、アルミ、スパイラルダクト、プラスチック、石膏ボード、ベニヤ、複合材料、樹脂
- ※厚さ 1 2 mm以上の金属への穴あけで、刃先径 3 8 mm以上の場合ボール盤での使用をお勧めします。

●仕様

- 刃先径: 1 4 mm～6 5 mm
- 有効長: 3 5 mm
- シャンク: エスロックシャンクを使用

●センタードリル

ハイスセンタードリル(品番:SLCD)

●シャンク

このカッターに使用できるエスロックシャンクには下表の種類があります。
用途・使用する電動工具に合わせて使用ください。

品名	品番	仕様
ストレートシャンク	SLSK	1 0 mm
SDSプラスシャンク	SLSKR	軽量ハンマードリル用



回転モード以外で使用しないでください。

●使用条件

＜電動工具の適正回転速度の目安＞

刃先径 (mm)	回転速度(min ⁻¹)		
	鉄	ステンレス	複合材料
1 5	1 2 7 0～8 5 0	1 0 6 0～5 3 0	4 2 4 0～1 0 6 0
2 0	9 6 0～6 4 0	8 0 0～4 0 0	3 1 8 0～8 0 0
3 0	6 4 0～4 2 0	5 3 0～2 7 0	2 1 2 0～5 3 0
4 0	4 8 0～3 2 0	4 0 0～2 0 0	1 5 9 0～4 0 0
5 0	3 2 0～2 1 0	2 7 0～1 3 0	1 0 6 0～2 7 0

※上記は弊社標準条件においての目安です。
穴あけ対象物の材質や固定方法等により、適正回転速度は異なります。

＜電動工具の消費電力の目安＞

刃先径(mm)	消費電力(W)
1 4～4 5	4 5 0 W以上
5 0～6 5	5 5 0 W以上



ユーザーと共に歩む

株式会社

ミヤナガ

受注センター

受付窓口 ☎0120-81-3875

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

URL http://www.miyana.co.jp

F A X ☎0120-3875-17

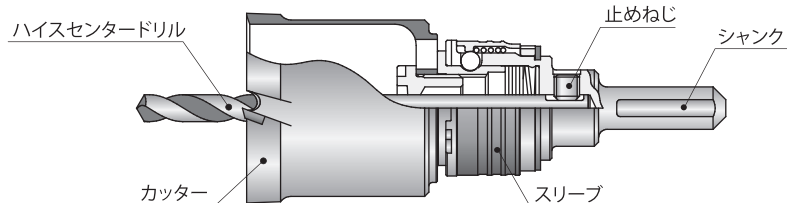
4955853-7

使用方法

● 使用時のご注意

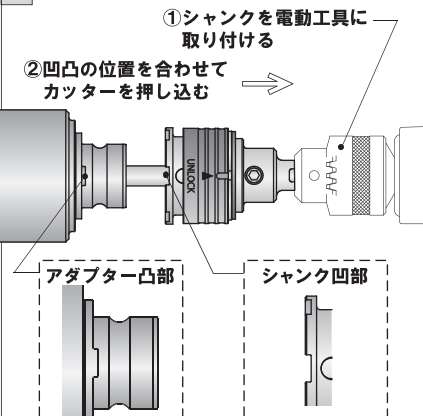
- ① 「使用条件」の欄を参考にし、穴あけ対象物に適した電動工具を使用してください。
- ② センタードリルをシャンクに取り付け、シャンクについている止めねじで固定してください。
- ③ カッターの着脱は「カッターの取り付け方法」、「カッターの取り外し方法」を参考にしてください。
- ④ 穴あけ中心位置にセンタードリルを当ててから、電動工具を回転させ、穿孔を始めてください。
- ⑤ センタードリル貫通時に、カッター刃先が穴あけ対象物に急激に当たらないようにご注意ください。
※急激に当たると刃先が変形します。カッターを取り付ける前にセンタードリルのみで穿孔し、カッター取り付け後穴あけを行うと回避できます。
- ⑥ 穴あけ作業中は、電動工具の回転が落ちないように、ゆっくり真っ直ぐに切り込んでください。
- ⑦ 穴あけ完了後は、カッターを正回転させたまに真っ直ぐに引き抜いてください。
- ⑧ カッター内に切削片が残っている場合は「切削片取り出し方法」を参考に切削片を取り出してください。

● 各部の名称



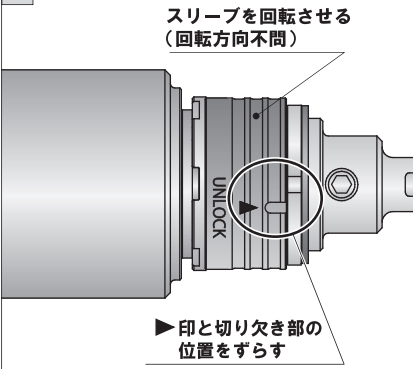
● カッター取り付け方法

1 カッターの取り付け



スリーブには手を掛けしないでください。
(バネの作用で装着完了と同時に、スリーブが動きシャンクのツバ部に当たります。)

2 カッターのロック



3 カッターのロック確認

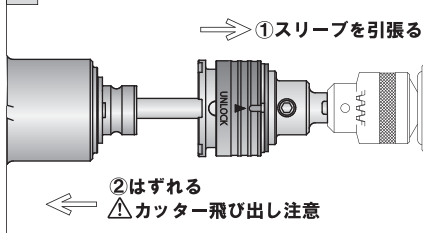


● カッター取り外し方法

1 取り外し準備

シャンクを電動工具に装着した状態で、カッターを手で持ってください。
⚠ けがや火傷をしないよう、保護手袋を着用してください。

3 カッターの取り外し

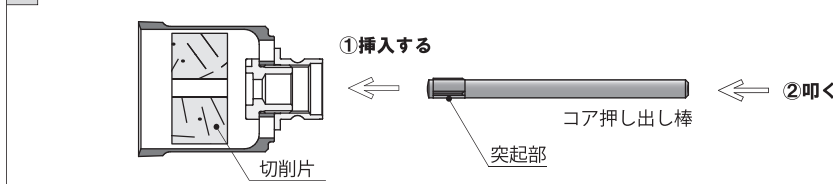


● 切削片取り出し方法

1 取り出し準備

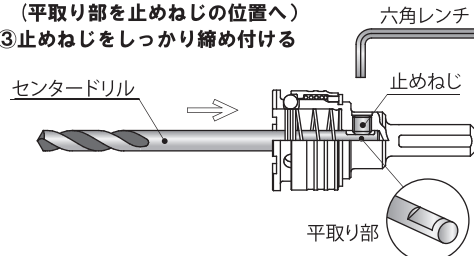
カッターをシャンクから取り外してください。

2 切削片取り出し



● センタードリルの交換方法

- ① 六角レンチで止めねじを緩める
- ② センタードリルを交換する (平取り部を止めねじの位置へ)
- ③ 止めねじをしっかり締め付ける



＜六角レンチ、止めねじサイズ＞

品名	六角レンチ	止めねじ
ストレートシャンク	3 mm	M 6
SDSプラスシャンク	3 mm	M 6

2 カッターのロック解除

スリーブを回転させ、
▶ 印と切り欠き部の位置を合わせる

